

令和7年度安城市行政評価 外部評価報告書の評価結果に対する取組方針(概要)

事業No.	事業名	令和7年度安城市行政評価 外部評価報告書からの提言	提言を踏まえた取組方針
1	広告掲載等事業	企業ニーズ等の把握に努めるとともに、把握したニーズを踏まえ、価格や契約期間等の見直し、広告掲載のメリットの明確化等に取り組み、事業の効果的な運用を図られたい。また、広告掲載等事業に対する庁内の理解を深め、広告掲載等事業への全庁的な参画を促されたい。	積極的に民間事業者とのコミュニケーションを図り、ニーズに沿った広告等の掲載を目指します。庁内に向けては、財源確保の重要性の周知や企業ニーズ等の共有を積極的に図り、広告掲載等事業への取組を促します。
2	自転車活用推進事業	今後の効率的な事業展開にあたっては、利用者像の把握に努め、効果的な運営をされたい。また、公共交通の補完としての機能を強化するのであれば、社会実験ポートによる利用実績の検証等や、収支バランスを踏まえ、事業の持続性を確保されたい。	公共交通の補完としての機能を強化するとともに、持続性の確保に向けた効果的な事業運営を行うため、社会実験ポートによる利用実績の検証や、利用促進に向けた情報発信などに努めます。
3	図書情報館ICT活用事業	データベースの周知と活用を促進するため、地域や学校、団体等の特性に合わせたPRや体験型イベント等の取組を充実する等により、利用者を拡大されたい。また、データベースに対する利用者ニーズを適宜把握、精査することにより、コンテンツの入れ替えや、データベース数の増減について柔軟に対応されたい。	データベースの周知と活用促進のため、ビジネス分野のデータベース等に焦点を当てた新しいチラシを作成し、データベースの具体的な活用法を紹介するイベントを開催します。また、利用が少ないデータベースに代えて、子ども向けの新しいデータベースを導入するなど、コンテンツの入れ替え・精査を行います。
4	文化財啓発事業	郷土の歴史や文化財に親しむ若年層の裾野を広げるため、本事業で育成されたジュニアキュレーターを活用する仕組みを構築されたい。また、郷土の歴史遺産に触れる多様な参加機会を提供する等により、若年層を始めとした多くの市民が郷土の歴史や文化財に関心を持つきっかけ作りをされたい。	ジュニアキュレーター養成講座に前年度受講者を取り込みつつ新規受講者も確保して継続的に実施します。多くの市民が郷土や文化財に関心を持つきっかけ作りとなる講座・イベントを開催します。

令和7年度安城市行政評価 外部評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事業No.及び事業名	1 広告掲載等事業	担当課	企画政策課
事業内容	公共施設・印刷物・ホームページなどの公共資産に民間事業者等の広告等を掲載することで、新たな財源の確保又は経費の節減、市民サービスの向上及び地域経済の活性化を図る。		
外部評価での論点	<p>広告掲載事業の拡大は、市の自主財源確保に資するほか、行政の媒体を活用して地域企業の取組みを発信することで、地域産業の振興につながるものと考えています。</p> <p>そのため、安城商工会議所の会報を活用した事業周知や市公式ウェブサイトなどで広告掲載に関する意見を募集するなどの取組みを行います。その他、民間事業者が関心を持つための効果的な取組みを検討していきたいと考えています。</p>		

【評価結果】

評価結果	要改善
担当課に取組を求める内容	<p>企業ニーズ等の把握に努めるとともに、把握したニーズを踏まえ、価格や契約期間等の見直し、広告掲載のメリットの明確化等に取り組み、事業の効果的な運用を図られたい。また、広告掲載等事業に対する庁内の理解を深め、広告掲載等事業への全庁的な参画を促されたい。</p>

【取組方針及び実施計画等】

評価結果を踏まえた取組方針	<p>積極的に民間事業者とのコミュニケーションを図り、ニーズに沿った広告等の掲載を目指します。</p> <p>庁内に向けては、財源確保の重要性の周知や企業ニーズ等の共有を積極的に図り、広告掲載等事業への取組を促します。</p>
---------------	---

項目	年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
企業ニーズの把握と新規広告募集	取組	既広告掲載企業及び広告代理店へのヒアリング	企業ニーズに沿った広告募集	
	実績			
庁内への広告掲載事業の取組の推進	取組	広告掲載等掲載事業の好事例の庁内周知 企業ニーズに基づく関係課へのヒアリング 職員への広告媒体のアイデア募集		
	実績			

令和7年度安城市行政評価 外部評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事業No.及び事業名	2 自転車活用推進事業	担当課	都市計画課
事業内容	シェアサイクル事業は、24時間利用が可能で、スマートフォンアプリ等で利用予約できる、電動アシスト付自転車のシェアリングサービスとして、市内主要駅や市役所などの公共施設、大型商業施設などに設置しています。		
外部評価での論点	成果指標を達成するためには、シェアサイクルポートの配置をまちなかの目的地となりうる施設などに対して、一定の密度を確保することが効果的です。現在の利用状況から、鉄道やバスからの二次交通としての利用も多く見受けられます。今後さらに市民生活の利便性を向上させるため、郊外に社会実験ポートを設置し利用数を確認しつつ、既存ポートの利用の変化も合わせて分析し、ポートの増設場所を見定めながら進めます。		

【評価結果】

評価結果	要改善
担当課に取組を求める内容	今後の効率的な事業展開にあたっては、利用者像の把握に努め、効果的な運営をされたい。また、公共交通の補完としての機能を強化するのであれば、社会実験ポートによる利用実績の検証等や、収支バランスを踏まえ、事業の持続性を確保されたい。

【取組方針及び実施計画等】

評価結果を踏まえた取組方針	公共交通の補完としての機能を強化するとともに、持続性の確保に向けた効果的な事業運営を行うため、社会実験ポートによる利用実績の検証や、利用促進に向けた情報発信などに努めます。
---------------	--

項目	年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
効果的なシェアサイクル事業の展開	取組	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験ポート設置やアンケート等による利用状況の把握及び検証 ・利用状況に応じた、常設ポートラック数の変更 	利用状況の検証を踏まえ、公共交通を補完する移動手段として、郊外への設置の検討	→
	実績			
シェアサイクル事業の情報発信	取組	新規利用者確保に向けた情報発信イベント等での効果的なPR等による利用促進		→
	実績			

令和7年度安城市行政評価 外部評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事業No.及び事業名	3 図書情報館ICT活用事業	担当課	アンフォーレ課
事業内容	図書情報館3階の「データベースパソコンコーナー」にあるデータベースパソコンで新聞、雑誌・論文、法情報や市場情報などが検索できます。17種類のコンテンツにより研究やレポート作成などに役立つ様々な情報を提供しています。		
外部評価での論点	PRイベントなどでデータベースを利用された方からは好意的な意見を聞いています。図書館資料として有効なコンテンツであると思います。別事業である電子書籍では、市内学校にもPRを行うことで利用実績が非常に伸びました。データベースについても、同様のPRを行うことを考えています。PRイベントについても、今年度実施したメディア・リテラシー講座のようにデータベースの操作方法だけでなく、活用方法を含めた内容を説明していきます。		

【評価結果】

評価結果	要改善
担当課に取組を求める内容	データベースの周知と活用を促進するため、地域や学校、団体等の特性に合わせたPRや体験型イベント等の取組を充実する等により、利用者を拡大されたい。また、データベースに対する利用者ニーズを適宜把握、精査することにより、コンテンツの入れ替えや、データベース数の増減について柔軟に対応されたい。

【取組方針及び実施計画等】

評価結果を踏まえた取組方針	データベースの周知と活用促進のため、ビジネス分野のデータベース等に焦点を当てた新しいチラシを作成し、データベースの具体的な活用法を紹介するイベントを開催します。 また、利用が少ないデータベースに代えて、子ども向けの新しいデータベースを導入するなど、コンテンツの入れ替え・精査を行います。
---------------	--

項目		年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者の特性に合わせた利用者増加策の実施	取組		データベースの具体的な活用法を紹介するイベントを開催 事業者や起業希望者などターゲットを絞ったPR方法を実施	利用者アンケートを実施し、利用者ニーズを反映した効果的な利用者増加策を検討(2年に1回実施)	
	実績				
充実したデータベースの提供	取組		利用者の属性を踏まえたコンテンツの入れ替え・精査		
	実績				

令和7年度安城市行政評価 外部評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事業No.及び事業名	4 文化財啓発事業	担当課	文化振興課
事業内容	小中学校出前授業、夏休み子ども考古学講座・あおぞら歴史教室など各世代への働きかけ、事業を協働する文化財ボランティアの育成		
外部評価での論点	文化財啓発事業としての新規講座を定期的実施することで、歴史遺産に触れる新たな機会を創出します。特に、若年層に対する文化財啓発事業は、将来にわたる文化遺産を守り伝えるための重要な取組であるため、出前授業の継続的な実施のための働きかけはもちろんのこと、今年度からジュニアキュレーター講座のような子どもたちの能動的な活動を支える取組が必要だと認識して実施しています。 外部評価の論点としては、これらの取組みをさらに効果的にする方策をご指導いただきたいと考えています。		

【評価結果】

評価結果	拡充
担当課に取組を求める内容	郷土の歴史や文化財に親しむ若年層の裾野を広げるため、本事業で育成されたジュニアキュレーターを活用する仕組みを構築されたい。また、郷土の歴史遺産に触れる多様な参加機会を提供する等により、若年層を始めとした多くの市民が郷土の歴史や文化財に関心を持つきっかけ作りをされたい。

【取組方針及び実施計画等】

評価結果を踏まえた取組方針	ジュニアキュレーター養成講座に前年度受講者を取り込みつつ新規受講者も確保して継続的に実施します。多くの市民が郷土や文化財に関心を持つきっかけ作りとなる講座・イベントを開催します。
---------------	---

項目		年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
ジュニアキュレーター養成講座に前年度受講者を取り込みつつ新規受講者も確保して継続的に実施します。	取組		・安城城に関する講座を開催。 ・ジュニアキュレーター活用の仕組みの検討	・桜井古墳群に関する講座を開催。 ・ジュニアキュレーター活用の方策の決定	ジュニアキュレーター活用の方策に基づく講座開催等の取組みの推進
	実績				
多くの市民が郷土や文化財に関心を持つきっかけ作りとなる講座・イベントを開催します。	取組		・文化財シンポジウム等の新規事業の開催 ・文化財啓発事業の計画策定	・文化財啓発事業の計画策定に基づく講座・イベントの推進	・文化財啓発事業の計画策定に基づく講座・イベントの推進
	実績				